

[ 表面 ] 試験が始まる前にこの頁に書いてあることをよく読んでください。  
 (裏面は試験問題になっているので、指示があるまで見てはいけません)

## 平成26年度 上期技能試験 [試験時間 40分]

### << 注意事項 >>

1. 電線接続箇所のテープ巻きは省略し、作品は保護板(板紙)に取り付けないものとします。
2. ケーブル及び絶縁電線の被覆のはぎ取り方法は、直角むき又は鉛筆むきのどちらでもよいものとします。
3. 施工省略部分へ至る電線の端末は、切断したままとします。
4. 監督員の指示に従い受験番号札に受験番号及び氏名を記入し、試験終了後、作品にしっかりと取り付けてください。取り付け位置は、どこでも結構です。
5. 試験終了後は、速やかに作業をやめ、工具をしまってください。試験終了後も作業を続けている場合は、失格となります。

### << 支給材料等の確認 >>

試験開始前に監督員が指示しますので、指示に従って与えられた材料等を下記の材料表と必ず照合し、材料の不良や不足等があれば監督員に申し出てください。

ただし、監督員の指示があるまで照合はしないでください。

材 料	
1. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (シース青色)、2.0mm、3心、長さ約 550mm	1本
2. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形、1.6mm、2心、長さ約 1250mm	1本
3. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形、1.6mm、3心、長さ約 500mm	1本
4. 端子台 (配線用遮断器及び漏電遮断器 (過負荷保護付) の代用)、5極	1個
5. ランプレセプタクル (カバーなし)	1個
6. 引掛シーリング (ボディ (角形) のみ)	1個
7. 埋込連用タンブラスイッチ	1個
8. 埋込連用コンセント	1個
9. 埋込連用取付枠	1枚
10. リングスリーブ (小)	1個
11. リングスリーブ (中)	2個
12. 差込形コネクタ (2本用)	2個
13. 差込形コネクタ (3本用)	1個
予 備 品 (減点なしで使用できます)	
1. 端子ねじ 1個      2. リングスリーブ (小) 1個      3. リングスリーブ (中) 1個	1袋
材 料 以 外	
1. 受験番号札	1枚
2. ビニル袋	1枚

### << 試験中の材料等支給 >>

ランプレセプタクル用端子ねじ、リングスリーブ及び差込形コネクタは、作業のやり直し等により不足が生じた場合、申し出(挙手をする)があれば追加支給します。なお、追加支給しても減点の対象とはなりません。

ただし、その他の材料(電線類、器具等)は追加支給をしませんので、注意してください。

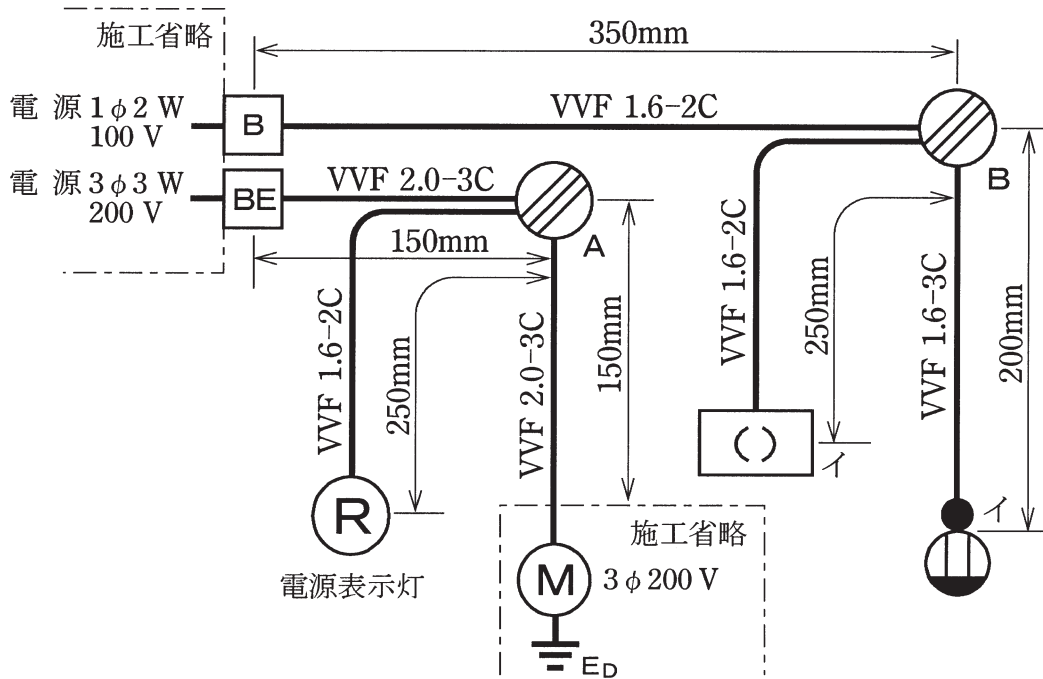
# 技能試験問題 [試験時間 40分]

図に示す低圧屋内配線工事を与えられた材料を使用し、〈施工条件〉に従って完成させなさい。  
ただし、-----で示した部分は施工を省略する。

なお、VVF用ジョイントボックス及びスイッチボックスは支給していないので、その取り付けは省略する。

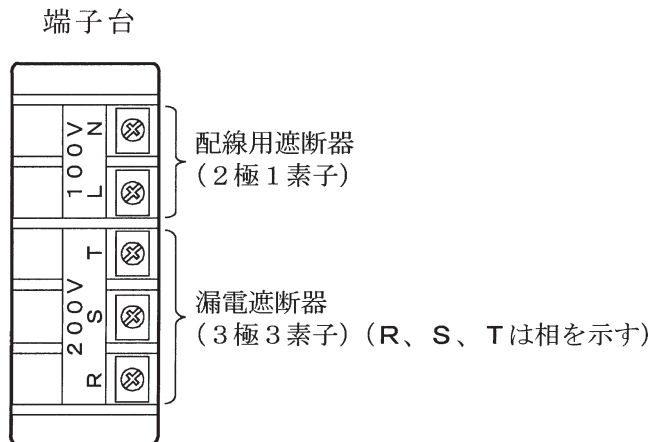
また、配線用遮断器及び漏電遮断器（過負荷保護付）は、端子台で代用するものとする。

図1. 配線図



- 注：1. 図記号は、原則として JIS C 0303:2000 に準拠している。  
また、作業に直接関係のない部分等は省略又は簡略化してある。  
2. (R) は、ランプレセプタクルを示す。

図2. 配線用遮断器及び漏電遮断器代用の端子台の説明図



## 〈 施工条件 〉

1. 配線及び器具の配置は、**図 1**に従って行うこと。
2. 配線用遮断器及び漏電遮断器代用の端子台は、**図 2**に従って使用すること。
3. 三相電源の**S相**は接地されているものとし、電源表示灯は、**S相とT相間**に接続すること。
4. 電線の色別（絶縁被覆の色）は、次によること。
  - ① 100V回路の電源からの接地側電線は、すべて**白色**を使用する。
  - ② 100V回路の電源から点滅器及びコンセントまでの非接地側電線は、すべて**黒色**を使用する。
  - ③ 200V回路の電源からの配線は、**R相に赤色、S相に白色、T相に黒色**を使用する。
  - ④ 次の器具の端子には、**白色の電線**を結線する。
    - ・ランプレセプタクルの受金ねじ部の端子
    - ・引掛シーリングの接地側極端子（接地側と表示）
    - ・コンセントの接地側極端子（**W**と表示）
    - ・配線用遮断器（端子台）の記号**N**の端子
5. VVF用ジョイントボックス部分を経由する電線は、その部分ですべて接続箇所を設け、接続方法は、次によること。
  - ① A部分の接続箇所は、リングスリーブによる終端接続とする。
  - ② B部分の接続箇所は、差込形コネクタによる接続とする。
6. ランプレセプタクル及び引掛シーリングは、台座のケーブル引込口を欠かずに、ケーブルを下部（裏側）から挿入して使用すること。